

# 一般質問21人が登壇

紙面の都合により、質問と答弁の要点のみ掲載しています。市議会会議録は、図書館、公民館、庁舎、地区行政センターなどの公共施設、ホームページまたは議会事務局にて閲覧できます。なお、3月定例会会議録は6月中旬から閲覧可能です。

## 石井 廣

**問** 白河関の森公園管理運営バリエーションを設置するのであれば、表示を工夫する必要があると考えるがいかがか。  
また、売店についても営業中の表示を見えるようにするなど、工夫も必要ではないのか伺います。

**答** 全国的に有名な白河の関、現在白河関の森公園への年間来場者は、11万人から12万人で推移しておりますが、平成13年7月園内に大型遊具を設置して以来、子供の入園者が増加しています。このような状況にかんがみ、市としては来園者、特に子供の安全を確保するため、バリエーションを設け車の進入を規制しているところでありますが、ご指摘のとおり営業状況が分かりにくいと考えられますので、今後見やすい場所に、「公園開園中」や「売店営業中」などの表示を設置したいと考えております。

## 柳路 幸雄

**問** 定員適正化計画の取組み策定方針の「採用者数は、当該年度の退職者数の70%程度とする。」にとらわれず、新たな視点で見直しを図り、平成19年4月1日の職員数を踏まえ見直します。

**問** 指定管理者制度の取組み

**答** 「白河市行政改革大綱」で、施設の効率的な管理と市民サービスの向上の観点から、制度の導入が提言されております。募集の方法、選定方法、指定期間、利用料金制、リスク分担、指定管理委託料など基本的方針を策定し、平成20年度以降に導入を図るため、対象施設の抽出作業を7月までに完了し、手続を進めます。

**問** エコオフィスしらかわプランの再構築  
**答** 目標年度は旧白河市と同様に5年間と考えております。平成18年4月から平成19年3月までのデータを収集後、精査の上設定します。

## 三森 栄治

**問** 国道289号の表郷梁森から三森までのバイパス化

**答** 現在、高木地区において交通安全施設等整備事業により歩道整備が実施されております。通学路の安全確保が緊急の課題であり、現状ではバイパス化は困難です。

**問** 白柵線路線存続について  
JRバス関東側から、番沢地域内、白柵線の路線変更を示唆したことに對する市としての対応を伺いたい。

**答** 昨年5月にJRバス関東柵倉営業所と、11月には本社と、白柵線の通行経路存続について協議を行いました。今後、JRバス関東に存続を強く働きかけるとともに、将来にわたり安定した運行を図れる方策について、協議検討してまいります。



## 佐川 京子

**問** JR研修センター誘致による恩恵と今後期待できること

**答** 現在、地元業者の取引は29業者あり、正社員、パートも多数採用しています。固定資産税、法人市民税の税収もあります。今後は、さらなる地元業者の参入、地産地消の要望を行います。

**問** 地域のまちおこしイベント等への市の支援助成について

**答** 現在、地元業者の取引は29業者あり、正社員、パートも多数採用しています。固定資産税、法人市民税の税収もあります。今後は、さらなる地元業者の参入、地産地消の要望を行います。

## 大竹 功一

**問** 教育行政について、新規施設整備にだけ力が入っていないように思えるが、ソフト面の充実をどう考えているのか。

**答** 障がい者等については特別支援教育助員の増員や放課後こども教室推進事業の創設、また各学校の特色ある事業の推進などを行っており、今後も検討してまいります。

**問** 市の補助金等について、大変多くの金額が支出されていますが、市の財政状況を考えたとき、見直す必要があると思うがどうか。

**答** 現在、ほとんどの補助金について見直しを検討しております。今後、必要性・事業の内容等を含め見直します。

**問** 公共事業入札に関して各地で多くの不祥事が発生している。白河の入札制度についても検討すべきと思うがどうか。

**答** 条件付き一般競争の導入を含め現在検討中であり、白河市は、実質公債費比率が22・4%と13市中最も悪い。事業の見直しはしないのか。

**答** 多くの事業が重要なものばかりであり、変更は考えていません。

## 石名 国光

**問** 循環バスを運行するに至った経緯と目的、コース・便数についてお聞きします。

**答** 住民意識調査や懇談会などでの声や移動手段を持たない高齢者に対応するため、10月から一日16本の運行を予定しています。

## 深谷 幸次郎

**問** 中心市街地活性化法の改正に伴い、市としてはどのような方針に基づき進めていくのか。

**答** 平成18年の中心市街地活性化法の改正に伴い、国で示す基本計画の中で中心市街地の活性化を図る目標として、人口減少・少子高齢化社会に対応した、高齢者も含めた多くのの人にとって暮らしやすい、多様な都市機能がコンパクトに集積した、歩いて暮らせる生活空間を実現すること。また、地域住民、事業者等の社会的、経済的、文化的活動が行われることにより、より活力ある地域経済社会を確立することと示されております。

**問** ここ数年間が公債費（借金）返還のピークを迎える時期であり、財政再建に向け大型事業は先延ばしすべきと考えます。

**答** 今後の投資的経費は財政の健全化を念頭に公債費負担適正化計画で定めた起債管理方針を遵守しながら、事業の選択及び実施時期や事業費を十分検討し実施してまいります。

**問** 平成18年の中心市街地活性化法の改正に伴い、国で示す基本計画の中で中心市街地の活性化を図る目標として、人口減少・少子高齢化社会に対応した、高齢者も含めた多くのの人にとって暮らしやすい、多様な都市機能がコンパクトに集積した、歩いて暮らせる生活空間を実現すること。また、地域住民、事業者等の社会的、経済的、文化的活動が行われることにより、より活力ある地域経済社会を確立することと示されております。

## 水野谷 正則

**問** 東地域の県道整備について

**答** 県の合併支援道路事業の18路線のうち、H19年～28年

**問** 青年農業後継者に対する後継者支援策について

**答** 青年農業後継者の一部の皆様からも、意見交換の機会が欲しいとの声もお聞きしております。市としても関係団体と連携し、希望等があれば組織で紹介する等、支援してまいりたいと考えております。

**問** 特定不妊治療に対する市単独の助成について

**答** 福島県特定不妊治療費助成事業で対応しており、市の単独助成は現在考えておりませんが、これらの事業については、広報等により住民の皆様への周知を図ってまいりたいと考えております。

## 佐川 京子

**問** JR研修センター誘致による恩恵と今後期待できること

**答** 現在、地元業者の取引は29業者あり、正社員、パートも多数採用しています。固定資産税、法人市民税の税収もあります。今後は、さらなる地元業者の参入、地産地消の要望を行います。

**問** 地域のまちおこしイベント等への市の支援助成について

**答** 現在、地元業者の取引は29業者あり、正社員、パートも多数採用しています。固定資産税、法人市民税の税収もあります。今後は、さらなる地元業者の参入、地産地消の要望を行います。

## 森山 千代

**問** 再度、介護保険法の改悪による軽度介護者（要支援、要介護1）の、福祉用具の利用ができなくなった人はその後どのように増えているか。

**答** また自費でレンタルしている人、負担が重く利用を断念している人もいます。せめて住民税非課税世帯の人に対して市独自の助成制度を創設すべきではないか。また福祉用具が取り上げられた人で住民税非課税世帯はどの位いるのか。

**問** 現段階では助成制度の創設は困難であるが、4月より利用制限が緩和されるので、今後の推移を見守っていく。非課税世帯は把握していないので、今後調査していきます。

**問** 経済格差が教育格差となり、給食費の未納問題が全国

**問** 街路灯の設置基準について

**答** 付近に街路灯がなく危険性を勘案し、緊急性のある箇





的に増え文科省が調査を行ったが、当市の未納者などほどのようになっているのか。  
未納者に対して生活実態をきちんと把握し、就学援助の申請などを進め、適切な対応が必要ではないか。

**答** 未納者は小学校57人、全体の0.8%、中学校38人1.5%である。今後調査し対応していきたい。

### 藤田文夫

**問** 市民に対する住宅用火災警報器等の設置に関する広報はどのように行っているのか、また市営住宅への設置計画はどうなっているのか。

**答** 「広報白河」に住宅用火災警報器等の設置促進並びに購入等の注意について、啓発のための記事を掲載したほか、春・秋の火災予防運動期間には、市・消防団・消防署の連名によるチラシを回覧するなど、啓発活動を行っています。市営住宅につきましては年次計画で対応してまいります。

**問** 国道289号のバイパス化に関連する進捗状況と見通しについて。また合併特例の市町村合併道路整備事業、合併推進債等でバイパス化ができた

いのか。

**答** 梁森から三森地区の整備においては、交通安全対策のうえからもバイパス化が理想的であります。県や関係機関との協議の結果、歩行者や自転車のいわゆる交通弱者が交通事故に遭遇しない策を講ずるため、早急に拡幅整備に至った経過がありますので、現段階では困難であります。

### 大竹利男

**子供たちの医療費年齢引き上げについて**

**問** 少子化対策、子育て支援にとっても医療費の無料化が大きな力となります。安心して子育てできる白河市に住もうと若者が増え、定住する新市づくりのためにも子供たちの医療費無料化の年齢の引き上げを強く求める。

**答** 乳幼児医療費助成制度を中学生まで引き上げるべきとのことですが、合併後の新白河市としても現段階では中学生までの完全無料化は考えていません。

### 災害復旧支援について

**問** 1月7日に県内を襲った暴風雨は、白河地方でもハウス農家で大きな被害を受けた。

被害の状況と、農業再建のために被害農家の支援について伺う。

**答** 被害の状況は、農業用ハウスは、235棟、面積は635a、被害金額は、2286万7000円、農作物の被害はレタス・小松菜を中心に403万6000円となりました。支援策は、復旧事業費1827万8000円、このうち、県と市を合わせた1218万4000円の補助となる。

### 藤田久男

#### 教育予算について

**問** 各学校特色ある教育がなされてきたと思いますが、各学校の合併前、合併後の比較について

**答** 学校予算総額、17年度当初予算12億3374万3000円、18年度12億4218万1000円、対前年比843万8000円の増、教師用パソコン購入の特殊事情を除けば、前年同額若しくはそれ以上の予算額となっています。

**問** 各学校で取り組んできた特色ある事業、東中学校では土曜講座、習熟度別事業が今後継続できるのか。

**答** 特色ある事業や人的配置

については、指導員派遣や非常勤講師事業など、19年度も継続することで予算計上をしています。

**問** 東中学校において、今までスポーツ予算面のPTAで集めていた金額10000円が、18年度には4000円になり、3000円も上がったと聞きましたが、内容的にはどうしてそのようなったのか、教育委員会として何か対応を考えているのか。

**答** 従来負担していなかったバス代、大会のプログラム等の経費が保護者負担増となつたと報告を受けております。現在東中学校の校長と、値下げすることで調整中です。

### 吾妻一郎

**問** 常勤特別職の退職金、区長報酬と任期の見直しについて

**答** 特別職報酬等審議会を設置し、調査審議していただきます。任期については平成22年3月31日までの2期4年となっていますが、区長制度についても、そのあり方について検討します。

**問** 工業用水道給水の見直し及び事業会計採算性の見直し

影響があり、重要な問題と認識。JA福島厚生連から診療機能の一部存続の検討が示されたので、さらに有効活用策を要望してまいります。

### 藤澤正典

**問** 新市における農業行政について、19年度より国の政策

が大きく変わり、集落営農や農地・水・環境対策等がスタートするが、それら対策への加入や参加者が少ない。どう受けとめ推進していくのか。また、新市の構想では均衡ある発展を目指すとのあるが、各対策において小規模農家対策や後継者問題等が取り残されている。今後の新市農業の目指すべき方向または構想をどのように考えているのか。

**答** 農地・水・環境保全向上対策等は、農地や水路等の保全を共同活動を通し、希薄化している「まとまり」の再構築を図るため実施されますが、現段階では加入者が少なく、どう向き合っていくかが重要であり、農業委員会や認定農業者協議会等と連携し推進していきます。

新市農業構想については、認定農業者や集落営農組織等

について

**答** 現在のところ給水量は確定していない（現在のところ給水量ゼロ）、県企業局と連携し企業誘致を図り、全体給水量を引き上げる努力をします。

**問** 複合文化施設建設に対する基本的な考えを伺います。

**答** 表郷地域にとっては重要な事業の一つであると認識しています。庁舎の空きスペースを利用して、複合文化施設の機能の一つである図書館を建設します。



表郷庁舎

**問** 生活道路の整備について

**答** 交通量の関係から生活道路については、現況幅員で年次計画により整備を進めていきます。

### 深谷弘

#### 財政健全化と予算の使い方

**問** 公共下水道事業・農業集落排水事業会計の借金返済に一般会計から毎年12億円支出する一方、子供の医療費無料化を中学校卒業までに広げる要求など負担軽減の要求には、お金がないと拒否しています。財政健全化の取り組みでは、経費削減（職員数の削減など）や負担増（料金値上げなど）だけしか見えませんが、これまでの税金の使い方、予算の使い方に大きな欠陥があると思います。市長は、どう考えますか。

**答** 住民の適正な負担がどうあるべきなのか考えることも必要だと思えます。住民福祉を求めると同時に、住民が福祉を求めると同時に、どのような負担があってもよいか、そういうことも真に必要な時代であろう思います。重要なことは、住民のニーズに合った施策を提供していくことと同時に、財政の健全化を図っていく。そういうことが、将来地域全体の住民福祉の向上につながっていくと思えますので、そういう視点で今後向

### 矢口秀章

#### 財政健全化について

**問** 平成27年度までに実質公債費比率を18%まで下げるとなっているが、提案されている予算では何%下げる計画なのか伺います。

**答** 実質公債費比率は標準財政規模に対する普通会計の公債費、公営企業の公債費に充てられる繰出金、一部事務組合等の公債費に充てられる負担金、公債費に準ずる債務負担行為の償還額の割合を示すものであり、合併前の借入金に対する償還額が平成19年度以降も増加することから、すぐに低減されるものではありません。

平成19年度予算執行における実質公債費比率の見込みであります。平成19年度当初予算における普通交付税などの歳入予算額から試算しますと、単年度で23・1%、3ヵ年平均で22・5%が見込まれるところであり、実質公債費比率の目標については、合併特例期間が終了する平成27年度の決算において、18%を下回ることが目標であり、

### 山本忠男

#### 公営住宅の目的・入居希望者の高倍率の現況とその対応策を伺う。

**答** 「真に住宅に困窮する低額所得者に低廉な家賃で住宅を供給することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする」。高倍率の要因は景気低迷の影響や入居基準の変動等による。今後、公営住宅法施行令の改正等により、入居競争倍率が緩和されると考えます。

#### （仮称）白河中央インターチェンジの進捗と、その恒久設置の可能性につき伺う。

**答** 社会実験画に向けた取付け道路や整備効果、またインターチェンジの形状や交差点、安全性を協議中。今年度内に社会実験企画に向けた申請を予定し、恒久設置に向けて利用促進、ETCの普及と積極的なPR活動を行います。

#### 白河厚生総合病院移転跡地の有効活用を望む。

**答** 本市の街づくりに大きな



ですが、バス利用の困難な区域につきましても、先進事例も参考に地域づくり協議会等、市民の皆様の意見を聞きながら、適正なあり方について調査研究してまいります。

### 鈴木博之

**問** (仮称) 白河中央インターチェンジについて、昨年9月議会に急ぎ予算化され随分急いだ案件でしたが、今議会では予算が19年度に繰越しとなつています。今までの協議等の進捗状況はどうなっていますか。また、予算が今後増額となる心配はありませんか。

**答** 現在測量が完了し、詳細の設計中です。用地は個別交渉を実施中です。また大規模な工事となるため、その発注について国土交通省と協議し、早期発注に努めてまいります。費用負担については、国道294号から高速道までは市が負担し、加速減速を含めた高速道本体の拡幅やETCゲートは国の負担となります。詳細が協議中であるため、予算の増減は流動的です。

**問** 白河南部中建設について、現在建設中の校舎の設計、そ

して工事監理業務、次に19年度予定の体育館、プールの設計とも同一の設計事務所であるが、その業者の社員数、資格者について伺います。

**答** 社員数は5名であり、その内技術職は4名、内2名が一級建築士であります。

### 大木信夫

**問** 施政方針の環境と共生するまちづくりで、交通安全対策の取り組みや現在の交通規制の見直しを考えているのか。

**答** 県公安委員会において、道路における危険防止、交通安全と円滑を図ることから、市としては市民からの陳情等を基に、交通状況、事故の危険性や緊急性など現場を確認し、その都度、公安委員会に要望をしている。

第八次白河市交通安全計画に対する安全対策は、国、県の基本的な考え方に基き、本市の実態を踏まえ「人優先」を基本とし、関係団体、民間団体との連携協力により事故のない社会を目指し推進する。

**問** 五番町川原1号線、通称百間土手の市道認定を。

**答** 金勝寺橋から200メートルについては法定外道路であり、

市道認定は諸条件を確認しながら検討したい。

**問** 北堀切昭和町線の舗装工事を来年度で完了を。

**答** 本路線は北堀切地内から昭和町地内までの新幹線に沿った市道であり、残りの約90メートルについては、19年度完了を目標に考えている。

## 総括質疑

### 大竹功一

**問** 今回、循環バス運行事業について600万円の予算措置がされています。以前、「楽市白河」が事業主体として同様の事業が平成13年に行われたが、利用者が思うように伸びず継続事業とならなかった経緯がある。今回の目的と考え方についてお示し頂きたい。

**答** 高齢者等、交通弱者と呼ばれる方からの要望もあり循環バス事業を導入したいと考えています。時期は平成19年10月から行い、白河地区内を左右8回運行の一日16便と考えています。事業については市が主体となり、市内事業所に委託する予定です。

**問** 都市計画マスタープラン策定委託料として本年度500万円、次年度500万円の計1000万円の予算が計画されています。なぜプラン作成が高額になるのか。財政状況を考えたとき、職員等で作成することはできないのかお聞きしたいと思います。

**答** 高額な予算となりましたが、今回市職員で出来るものは全て行い、専門的分野のみ委託することにより、以前の予算を大幅に減額しています。

### 鈴木博之

**問** 白河中央インターチェンジ北線、南線について、未存在の市道を認定する意義について、また整備の日程、設計、施工について伺います。

**答** 用地買収で租税特別措置法の適用を受けるためには、土地収用法を適用させなければならぬ、そのため今回の認定が必要となります。また、工事は国土交通省と協議し、早期発注を目指し19年12月を目標に完成させたい。

**問** 退職金について、今年度当初予算に計上されたのは前

年度に比べれば一歩前進であるが、今回計上の4億5700万円は何名分なのか、またその他早期退職者に対する予算確保はどう考えているのか。

**答** 今回計上されているのは定年退職者17名分です。その他早期退職者はまだ分かりませんが、その予算措置は来年3月の補正で確保したいと考えています。

### 大竹利男

**問** 合併前の東村では、小学4年生以上の子供についても利用できていたが、白河市放課後児童クラブ条例では小学4年生以上の子供の利用はどのようにするのか。

**答** 放課後児童クラブについては、このたび、提案いたしました白河市放課後児童クラブ条例(案)においても第3条の対象児童の規定で、原則は小学校1年生から3年生まででありませんが、「児童の運営に支障のない場合については、この限りでない」としてあります。

**問** ひがし保育園改修建設事業

**問** ひがし保育園改修の全体構想について、預かり保育施設について、どのように考えているか伺いたい。

**答** 平成19年度においては地質調査を実施し、平成20年度以降において土地造成、実施設計等を考えております。

ひがし幼稚園の預かり保育で利用している施設は、昭和44年に建設された母子センターを利用しての。今後、幼保一元化の流れの中で、調査研究していきたい。



ひがし保育園

### 深谷弘

**問** 市内循環バス運行事業  
平成13年度、楽市白河が主体となって、市内循環バスを3ヵ月間試行運転しました。

そのときの市の助成金は400万円です。今回の予算は、6ヵ月間で628万9000円ですが、その積算根拠はどうなっていますか。

**答** 10月から3月までの6ヵ月の運行経費として600万円、時刻表印刷経費として28万9000円を計上したもので、平成13年度楽市白河が実施した額を参考に積算しました。

**問** 問題は、6ヵ月間終了後、この事業がどうなるのかということ。あくまで、やってみてその結果どうなるのか判断すると理解してよいのか。事業主体が白河市になったことで、採算は別にしてもやるという考えなのか。採算性、市民の要望、利用状況など、どういう状況なら続けることになるのかなどについて確認させてください。

**答** 現段階では、今後利用者の声なども参考にしながら、市民の身近な足として定着するように努めていきたいと考えています。

### 吉田洋

**問** 白河市議会議員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

現行の報酬と期末手当の18年度と19年度の年額、改正案の年額、その差額は幾らか。

**答** 18年度2億9302万6165円、19年度1億9238万3040円、改正案では19年度1億7314万4736円となり、19年度の現行と改正案の差額は1923万8304円となる。

**問** 議員改選1ヵ月前に提案された理由は。

**答** 予算書を見ればわかるように本市の財政は急を要する。一日も早く財政健全化に取り組まなければならない。これ以上の先延ばしはいけない。

**問** なぜ10%減額なのか。また1年間とした根拠は。

**答** 市長は10%1年間減額、議員も同様にするのが妥当な線だ。

**問** 特別委員会を設け、他市の資料を取り寄せ、議論し、委員長が提案するのが一般的ではないか。

**答** 一般的だと思うが、急を要するときと考え、このようにした。

**問** 白河市議会議員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例

福島県内外の報酬、期末手当等に関する資料を取り寄せ、十分調査・検討・議論され、賛成議員の賛同を得たのか。また、賛成議員同士で調査・検討・議論等はいつごろから何回実施されたのか、そのときの資料を提示願いたい。

**答** 白河市の財政が非常に厳しい状況なので提出した。資料での調査・検討・議論はしていない。賛成議員には電話で賛同を得た。

**問** 合併協議会で決定された議員在任期間と報酬は尊重すべきではないか。残任1ヵ月前にみずから改正提案する理由は。

**答** 合併協議会決定項目については、質問者と私の見解の相違で、提出理由は、財政が非常に厳しい折、財政の一助とするため。

### 大木信夫

**問** 辺地に係る公共的施設の整備計画の策定について  
大信赤仁田携帯電話未通信地区解消のため、総事業費1億198万5000円の財政内訳は。  
**答** 市町村が移动通信铁塔

施設を整備する場合、国が経費の6分の3を補助し市町村が6分の2、通信事業者が6分の1を負担する。

**問** 設置企業者はどこなのか。  
**答** KDDI(株)とNTTドコモ(株)から利用したいとの内諾を受けているが、国、県との協議の上業務を決定する。

**問** 設置される鉄塔は2社が共用できるのではないかと、できれば複数メーカーが使われれば、利便性はもっと向上すると思うがどうか。

**答** 施設は基本的にKDDIとNTTドコモが同時に利用することは可能であるため、2社ともにサービスをやるよう、国、県の指導を受け協議を進めていきたい。

**問** 本市で他に未通信地区は。  
**答** 芳賀須内、広谷地、泉岡、入方、内松、山田、犬神、菅辻、石橋、桜岡、形見、若栗、下野出島などがある。これら早期解消に努めていきたい。



請 願

- 仕事と生活の調和の実現に向けた労働法制を求める意見書提出の請願（採択）
- 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願（採択）
- 日本農業に甚大な打撃を与える日豪FTAの交渉の中止とFTA・EPA促進路線の転換を求める意見書提出の請願（採択）

※採択した請願は、意見書案として提案されました。

意 見 書

- 仕事と生活の調和の実現に向けた労働法制を求める意見書（可決）
- 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書（可決）
- 日本農業に甚大な打撃を与える日豪FTAの交渉の中止とFTA・EPA促進路線の転換を求める意見書（可決）
- 不妊治療に対する支援を求める意見書（可決）

※可決した意見書は、内閣総理大臣初め関係機関に提出しました。

6 月定例会日程のお知らせ（予定）

|          |         |           |
|----------|---------|-----------|
| 6月14日(木) | 定例会開会   | (午前10時開議) |
| 6月20日(水) | 一般質問・質疑 | (午前10時開議) |
| 6月21日(木) | 一般質問・質疑 | (午前10時開議) |
| 6月22日(金) | 一般質問・質疑 | (午前10時開議) |
| 6月25日(月) | 議会運営委員会 |           |
| 6月26日(火) | 各常任委員会  |           |
| 6月27日(水) | 各常任委員会  |           |
| 7月2日(月)  | 本会議・閉会  | (午前10時開議) |

※この日程は、3月26日の議会運営委員会で内定したものです。なお、正式には6月12日開催予定の議会運営委員会で決定します。傍聴する場合は、議会事務局にご確認ください。

電話 22-1111/内線 2411・2412

人権擁護委員の候補者の推薦

人権擁護委員を務める7名が、平成19年6月30日で任期満了となるため、宮本多可夫氏ほか6名を候補者として推薦することについて、全会一致で同意しました。

- 宮本多可夫 (再任・旭町)
- 中村 周常 (再任・本町)
- 柳 恵子 (再任・本町)
- 和知 幸子 (再任・中田)
- 鈴木 紳一 (再任・小田川)
- 片倉 文子 (再任・立石)
- 笠原 克洋 (新任・北裏)

公平委員会委員の選任

白河市公平委員会を務める2名が辞職したため、新たに竹貫博隆氏と小林英子氏の選任について、全会一致で同意しました。

- 竹貫 博隆 (向寺)
- 小林 英子 (米山越)

大沼幼稚園を訪ねて



晴天に恵まれた卒園式、先生、父兄、園児共々緊張気味。音楽が流れ入場、園長先生から修了証書をいただく園児、それぞれの「ありがとうございます」の元気な声。卒園児と在園児が向かい合い、楽しかった思い出の掛合い「芋ほりしたこと」等々オペラのように会場の涙を誘いました。六歳という人生の節目になると思いました。

松並 早津栄一

大沼幼稚園の皆様、写真撮影のご協力ありがとうございました。

編集後記

白河市が合併し1年半が経過しました。64名の議員により財政問題をはじめ、様々な事柄が議会にて審議され、その結果を議会だよりにて報告してきました。今回の第6号がこの10名の編集委員による最後の発行となります。これまで編集委員の一致協力のもと、市民の皆様に分かりやすく、そして親しみやすい紙面づくりに努力してきました。



次号からは新しい議員による編集委員にて編集されますので、更にはさらしい議会報が発刊されます事を期待申し上げます。

これまで市民の皆様のご理解とご協力に編集委員一同深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

編集委員長

深谷幸次郎

副委員長

藤澤正典

編集委員

- 穂積栄治 飯村 守
- 我妻茂昭 須藤博之
- 鈴木博之 藤田久男
- 真船俊雄 渡部半一